

受講生募集

求職者支援訓練

募集期間延長

訓練番号

4-23-24-02-05-0111

実践コース 介護福祉サービス科

- 訓練内容 介護施設や介護事業所で働くための介護業務習得を目指します。
取得資格:ホームヘルパー2級、 福祉用具専門相談員
- 訓練期間 平成24年5月 1日(月)～平成24年7月31日(火)
- 受講時間 9:00～15:50
- 募集定員 20名(応募者が定員の半数に満たない場合は、訓練を中止することがあります。)
- 受講料 無 料 (テキスト代15,000円、介護実習交通費4000円程度は負担となります。)
- 受講対象者 公共職業訓練所(ハローワーク)に求職申込みを行っており、職業相談の上、公共職業訓練所長の支援指示が受けられる特定求職者(雇用保険の失業給付を受給できない求職者)
- 開設場所 〒517-0502 志摩市阿児町神明723番地8 (賢島)
代々木高校 電話0599-43-6133 FAX0599-43-6211
近鉄賢島駅から徒歩5分 無料駐車場あり(40台) 担当者 西尾 哲明

受講を希望される方へ

- 募集期間 平成24年3月5日(月) ～ 平成24年4月5日(木)
- 申込先 代々木高校
- 選考日 平成24年4月12日(木) ○選考場所 代々木高校
- 選考方法 面接、筆記試験 ○持ち物 筆記用具
- 選考結果通知日 平成24年4月17日 (火)

受講申込みは、以下の手順に従ってください。

住所地を管轄するハローワークで手続きが必要です。

ハローワーク伊勢 (0596) 27-8609

志摩市ふるさとハローワーク (0599) 46-0986

ハローワークの許可が出ましたら受講申込書は代々木高校へ郵送もしくは持参してください。

※郵送の場合 4月5日必着

*持参の場合 受付時間は平日9:00～16:30

*「職業訓練受給給付金のご案内」

ハローワークの支援指示を受けて求職者支援訓練等を受講する方が、一定の要件を満たす場合に支給されます。詳細は、ハローワークにお問い合わせください。



訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社 代々木高校

訓練の種類	☐ 基礎コース ☒ 実践コース(05介護福祉分野)		想定する就職先の職務・仕事 (※基礎コースの場合は記載不要)		
訓練科名	介護福祉サービス科		介護施設や介護事業所における介護業務		
募集期間(予定)	平成24年3月5日 ~ 平成24年4月5日				
選考日(予定)	平成 24 年 4 月 12 日				
選考方法	☒ 面接	☒ 筆記試験	☐ その他()		
選考結果通知日	平成 24 年 4 月 17 日				
訓練期間	平成24年5月1日 ~ 平成24年7月31日		(3か月)	(訓練日数 54 日)	
訓練時間	9 時 0 分 ~ 15 時 50 分		訓練定員	20 名	
訓練対象者の条件	特になし				
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐ 新規学校卒業者 ☐ 被災者	☐ ニート等の若者 ☐ 外国人 その他()	☐ 障害者 ☐ 母子家庭の母等		
訓練目標 (仕上がり像)	職業人として必要な基礎能力を始め、介護に関する知識及び技能を習得し、介護施設や訪問介護事業所において、身体介護、家事援助ができる。ITの基本操作ができる。				
訓練修了後に取得できる資格	名称(ホームヘルパー2級) 認定機関(三重県) 名称(福祉用具専門相談員) 認定機関(三重県)		☐ 任意受験 ☐ 任意受験		
訓練内容	科目		科目の内容		訓練時間
	福祉サービスの基本視点		開講・ガイダンス(3h)・修了式(1h)		
	社会福祉の制度とサービス		福祉理念とケアサービスの意義(3h)、サービス提供の基本視点(3h)		6
	ホームヘルプサービスに関する知識		高齢者保健福祉の制度とサービス(3h)、障害者(児)福祉の制度とサービス(3h)		6
	サービス利用者の理解		ホームヘルプサービス概論(3h)、ホームヘルパーの職業倫理(3h)、		6
	介護に関する知識と方法		障害・疾病の理解(12h)、高齢者・障害者(児)の心理(3h)、高齢者・障害者(児)等の家族の理解(3h)		18
	家事援助に関する知識と方法		介護概論(4h)、介護事例検討(4h)、住宅・福祉用具に関する知識(4h)		12
	相談援助とケア計画の方法		家事援助の方法(6h)、		6
	関連領域の基礎知識		相談援助とケア計画の方法(6h)		6
	職業能力基礎講習		医療の基礎知識Ⅰ(4h)、在宅看護の基礎知識Ⅰ(4h)、リハビリテーション医療の基礎知識4h)		12
	老人保健福祉に関する基礎知識		自己理解、仕事理解、職業意識、電話応対、挨拶、身だしなみ、態度、言葉遣い(12h)		30
	介護と福祉用具に関する知識		職場内のコミュニケーション、ビジネスマナー・仕事への心構え・態度・知識(12h)自己分析・理解(6h)		3
	関連領域に関する基礎知識		老人保健福祉制度の概要(3h)		21
	安全衛生		介護に関する基礎知識(3h) 介護技術(6h) 介護場面における福祉用具の活用(12)		12
	介護演習		高齢者等の心理(3) 医学の基礎知識(3) リハビリテーション概要(6)		3
	基本介護技術		VDT作業と安全衛生、介護実習での安全衛生		
	ITの基礎		共感的理解と基本的態度の形成(6h)、訪問介護計画の作成と記録・報告の技術(6h)、レクリエーション体験学習の方法(6h)		18
	ITの基礎演習		食事、排泄、入浴、移動、移乗、その他の基本的な介護技術の修得(18h)、		30
	介護実習(所外)		車椅子の介助方法、視覚障害者の歩行介助及び実体験、福祉車両のとり扱い及び介助方法(12h)		30
	介護演習(福祉用具)		パソコンの基礎(6h)、キーボード基本練習(6h)、Windowsの基本操作(18h)、		30
職場体験		基礎ビジネス文書の作成(30h)		40	
職場見学		在宅サービス提供現場見学8h×2日(デイサービスセンター、在宅介護支援センター等)(16h) 施設実習8h×2日(16h)、訪問介護サービス同行訪問(8h)		18	
企業実習		福祉用具の活用に関する実習(18h)			
訓練時間総合計		312時間	学科 141時間	実技 166時間	職場体験等 5時間
受講者の負担する費用		教科書代 15,000 円		合計 19000円	
		その他(実習施設への旅費) 4,000 円			
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)		☒ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する		
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫		グループ学習や体験学習を取り入れたり、ITを使い日本中の高齢者に目を向けたりする中で、介護員の役割について学び考え合う		
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫		各教科毎に修了評価を実施する。自己評価と講師評価を行う。学んだことを介護現場でどのように役立てていくか、等について話し合う		